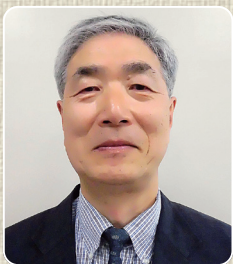


現代人へのメッセージ

西田幾多郎と純粹經驗

近代日本哲学の草分けと言える西田幾多郎の初期の作品『善の研究』は、「純粹經驗」ですべてを説明したいという動機から独特の思想が形成されてゆきます。例えば、私が花を見ている。私はその花の美しさを感じている。そのときに、私が美しい花を見ていることと花があるがままにあることがひとつになっているところが純粹經驗です。そこでは美しいと見ている私と見られている花が主観と客観に分かれていません。それが經驗の始源です。これを私たちの日常生活に応用したらどのようなことになるのでしょうか。一緒に考えてみましょう。



講師：松丸 壽雄(まつまる ひさお)

獨協大学国際教養学部教授

1945年東京都生まれ
1970年京都大学農学部卒業後、1973年京都大学文学部卒業
1983年京都大学文学部助手を経て、1989年獨協大学教養部助教授
2007年から獨協大学国際教養学部教授(現職)
京都大学博士(文学)
西田哲学会会長
著書に『直接知の探求』(春風社)その他がある

日時

7月18日(土) 13時~15時(12時開場)

場所

獨協大学 天野貞祐記念館大講堂

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通 東武スカイツリーライン「松原団地駅」西口徒歩5分 *車でのご来校はご遠慮ください

受講

無料 定員500人 当日先着順 事前申込不要

共催：草加市

2015年度



「哲学の道」(京都)

獨協大学オープンカレッジ特別講座 獨協大学エクステンションセンター
☎048-946-1678 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1